



| | | | |
|------|------|----|--------|
| 授業形態 | 自校 | 他校 | 巡回 |
| | 個別指導 | | グループ指導 |

| | |
|--|--|
| <p>実態：中学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのコントロールが難しい。 ・暗黙の了解や常識が分からない。 ・自分の気持ちを言葉で表現することが難しい。 ・友だちの話の輪に入ることができない。 | <p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深める。 ・「聞く力」や「言葉で表現する力」を高める。 ・集団への所属感や連帯感を高める。 ・自立に必要なライフスキルを身に付ける。 |
|--|--|

通級での指導・支援

話す「きっかけ」になるように

- ・アイスブレイク
- ・カードゲーム
〔ごきぶりポーカー〕〔DiXit ディクシット〕
- ・卓球 ・ストラックアウト

自立に必要なライフスキルを身に付けるために

- ・『SST ワークシート』
生徒自身が後で確認できるようにする。
- ・ロールプレイ
「役割を演じる」ことで、話すタイミングや状況にあった適切な対応を学べるようにする。

気持ちを言葉で表現できるように

- ・1分間スピーチ
毎回SSTの振り返りをする。

お楽しみ行事として

- ・「七夕」の会 ・「飛鳥鍋」の会
- ・「オルゴナイト」の製作 (PTAバザーで展示)



ごきぶりポーカー



DiXit ディクシット



SSTワークシート

通常の学級での指導・支援

- ・本人は状況を言葉で説明することは難しいため、得意な絵で説明させている。対応の仕方については具体的に伝える。
- ・□答指示だけではなく、後で確認できるようにメモを書く等、視覚支援を行う。
- ・質問するときには選択肢を与え、自分の意思で決められるようにする。
- ・パニックを起こした時の対応を本人と話し、決まった場所でフールドウンするようにする。

通級での変容

- * 相手の話を聞くときに相槌を打つようになり、相手の目を見て話すことができるようになった。
- * パニックの回数が減り、ゲームで負けても暴言を吐くことなく、ゲームを楽しむことができるようになった。
- * 問題が起こり、どう対応すれば良いか分からないときは、すぐに質問するようになった。
- * SSTのメンバーの誰かが悩んでいるときには通級指導教室に集まり、話し合いをする等、仲間同士助け合いができるようになった。
- * 進路に向けて、積極的に考えるようになった。



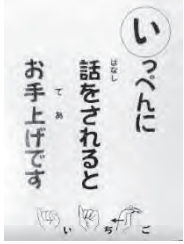
通常の学級での変容

- * 毎日登校できるようになった。
- * 通常の学級担任に「学校生活が楽しくなってきた」と、笑顔で話すようになった。
- * 進学時、「個別の教育支援計画」を提出する際、高校の先生方に直接自分の「困り感」を伝えることができた。



| | | | |
|------|------|----|--------|
| 授業形態 | 自校 | 他校 | 巡回 |
| | 個別指導 | | グループ指導 |

| | |
|---|--|
| 実態:小学生 ・聴覚活用ができる軽度中等度の児童や重度で人工内耳を使っている児童。 ・指文字や手話が必要な子どもがいる。 | 長期目標 ・「難聴理解かるた」を用いて場面や状況を考えて、自己認識を深める。 ・「難聴理解かるた」の体験談から経験や感想を伝えることができる。 ・難聴の共通点や違いに気づき、コミュニケーションをとるのにどうすればよいかを考える。 |
|---|--|

| | |
|--|--|
| 通級での指導・支援 難聴児の自己認識を高めるために 「きこえなかま集会」(週1回実施) ○ 「難聴理解かるた」を使い、自己認識を高める。 ・かるたを通して場面や状況を考える。 ・読み札の体験談から同じ経験を探したり、そのときの気持ち等を伝え合ったりする。 | 通常の学級での指導・支援 ・1学期に全校放送できこえの教室の子どもたちが、障害理解について放送を行う。 [・きこえの教室の秘密 ・一人一人のきこえ方の違い ・補聴器の仕組み(得意なこと、苦手なこと) ・人工内耳の仕組み ・ロジャー(ワイヤレス補聴システム)の使い方 ・顔を見て話してほしいこと ・3学期には、学級で一人一人発表する。 [・補聴器体験 ・人工内耳の仕組み ・難聴体験 ・コミュニケーションをとるには等 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>その① 「先生から野外活動の説明があり、班に分かれて話し合いが始まった時、班の友だちが同時に話し始めたので分からなくなり、とっても困った。それで、ロジャーを使って話して欲しいと言ったら、ロジャーを使ってくれたので、分かりやすくなり、野外活動も楽しみになった。」</p> <p>その② 「ロジャーを使うと周りの音も一緒に入ってしまうので、みんなが同時に喋ると分からない時がある。そういう時は必ず友だちが『きこえる?』ときいてくれるので、ありがと思う。」</p> <p>アドバイス 「きこえないときは、みんなに『周りもうるさいから同時に言われると分からない。だから一人ずつ言ってくれる?』と言ったことがあるよ。」</p> </div> | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>絵札 表・裏(指文字)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>難聴理解かるた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>読み札 表・裏(体験談)</p> </div> </div> | |
| ※「難聴理解かるた」について 難聴の子どもと関わりのある教員、同級生、保護者の方々に、「きこえない、きこえにくい」とはどういうことなのかを知ってほしいと、当事者が作成したかるたです。難聴の子どもたちが学校・家庭生活においてどんなことに困り、どんなことに不安を感じているのかは、あまり知られていません。 | |

| | |
|--|---|
| 通級での変容 * 伝える方法がいろいろあることを知ることができた。 * 自分の最善の方法で情報を得ることができるようになり、その方法で依頼してよいことを理解できるようになった。 * 友だちなどにしてもらったことに対してお礼を言えるようになってきた。 | 通常の学級での変容 * 自己認識が進んだことで、友だちとの自然なやりとりが増えた。 |
|--|---|

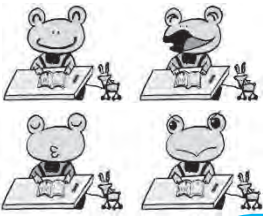


| | | | |
|------|------|----|--------|
| 授業形態 | 自校 | 他校 | 巡回 |
| | 個別指導 | | グループ指導 |

| | |
|---|---|
| <p>実態:小学生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吃音のある通級児童 7名 ・吃音が顕著に目立つ時期と目立たない時期が交互に現れる。 ・音節または音の繰り返しに加え、引き延ばしもある。 | <p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の吃音と向き合い、悩みや困っていることを話すことができる。 ・吃音のある成人の方や大学生と交流して、将来のことを考えることができる。 |
|---|---|

| | |
|---|--|
| <p>通級での指導・支援</p> <p>吃音のある児童の自己認識を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お楽しみ会を計画し実施する。 (自己認識の学習は、グループ指導が適切である。学期末毎に、吃音のある児童全員が集まるお楽しみ会を実施する。) ・高学年が計画し、児童に知らせる。 ・各児童が、お楽しみ会での出し物や遊びを考え、高学年に伝える。 ○ お楽しみ会をする。 <ol style="list-style-type: none"> ①工作やゲームをして遊ぶ。 集合するまでの時間を使って、工作(ストロー飛行機など)やゲーム(ぼうずめくりなど)をする。(時間調整とアイスブレイクの効果) ②「ようこそ・先輩」ゲストを招き、体験談を聞く。 吃音のある成人の方や大学生を招き、体験を聞く。 ③吃音に関わる経験を話す。 ゲストと共に、吃音についての悩みや困っていることを話し合う。 ④みんなで遊ぶ。 どの学年の児童も参加できる遊びやルール工夫を考え、ドッジボールや鬼ごっこなど全員で遊ぶ。 ○ お楽しみ会の感想を書く。 | <p>通常の学級での指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吃音のことで、友だちにからかわれたり、「どうして、そんな言い方になるの?」などたずねられたりしたことがあるかを把握しておく。 ・吃音について、学級や学年の友だちに説明した方がいいのか、児童や保護者や通級担当教員と話し合う。 [説明の対象(学級・学年・学校)や内容、方法、時期など] ・通級での吃音理解の学習内容や吃音についての児童の悩みや考えを、通常の学級担任や保護者と共通理解し、環境調整や吃音についての配慮や支援を行う。 |
|---|--|

| | |
|--|---|
| <p>通級での変容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 吃音のある成人の方や大学生の体験談を聞き、交流することにより、将来への見通しがもて、不安を取り除くことができた。 * 吃音のある児童と交流し、話し合うことにより、自分の吃音について見つめ直す機会になった。また、吃音の悩みや経験を共感し合うことができ、自己肯定感が高まった。 | <p>通常の学級での変容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自分の吃音のことを、自分で友だちに言うこと(自己開示)ができた。 * 発話意欲が高まり積極的に学校生活に参加できるようになった。 |
|--|---|



コラム⑱ 《学級で話をするときに》

通級による指導を受ける児童生徒にとって通常の学級の友だちや先生の理解がとても大切です。通級担当教員がその子どもの在籍する学級でみんなに話をするもありますが、大切なのは事前に必ず本人や保護者と確認することです。

①何を伝えるのか

例えば…得意なこと・不得意なこと、感覚の違いがあること、学び方の違いがあること、支援機器の活用（カメラ・タブレット PC 等）が学習に必要な場合もあること等

②誰がいつ伝えるのか

例えば…本人が話すのか、先生と一緒に話すのか、先生が話すのか、本人がいないときに先生が話すのか、伝えるタイミング等

揺れる子どもの気持ちに寄り添いながら、本人の気持ちを聞き取り相談して決めることが大切です。



小学校の児童へは…

「人は一人一人得意なことや不得意なことが違います。学び方も違います。自分に合った学習方法を見つけるために通級指導教室へ行きます。△△さんは、集中して学習する力を付けるために通級指導教室に通うことになりました。

自分が頑張ろうと思うことを学習しに行くので、みんなも仲間として応援してください。出かけるときには『行ってらっしゃい』、教室に戻ってきたときには『おかえりなさい』の声かけがあるとうれしいです。」と話すことがあります。



中学校の生徒へは…

「通級指導教室とは、特定の教科が苦手、集中して物事に取り組むことが苦手、友だちとの人間関係を作り上げることが苦手と感じている友だちが、それぞれの苦手を克服するために、個別に学習する教室です。自分に合った学習方法を身に付けられる場所でもあります。」と通級とはどんな場所かを話すこともあります。

また、「〇〇さんは4月にみんなと同じように□□中学校に入学してきました。今まで授業中も一生懸命に努力して、先生の話の聞いたり、ノートを書いたりしてきました。でも、〇〇さんや保護者の方から『特に数学が苦手で、分かるようになりたい。集中できる通級指導教室で苦手な学習にじっくりと取り組みたい。』と希望がありました。保護者の方も〇〇さんの希望を応援したいと言われました。〇〇さんや保護者の方と先生で話し合っ、数学の1時間だけ教室を離れ通級指導教室に行き、本人に合う方法を見つけるために学習をしていくことになりました。〇〇さんが勇気をもって決心してくれましたが、学級から離れて学習することについて大変不安をもっていると思います。みんな、〇〇さんをそっと温かく見守ってください。」と周りの生徒に話をすることもあります。

～資料編～



指導・支援の際には
教材・教具等も参考にしてください

3-1 教材・教具等一覧

| 事例番号 | 教材・教具 | マーク | 出版社・その他 |
|----------------|--|-----|--------------------|
| 2-1-1 | 図形キューブつみき | | くもん出版 |
| 2-1-1 2-4-2 | 聞きとりワークシート①②③ | | かもがわ出版 |
| 2-1-1 | 音韻認識をはぐくむ！ひらがなトレーニング（タブレット用アプリ） | | 明治図書 |
| 2-1-1 | 筆談パッド（タブレット用アプリ） | | Catalystwo Limited |
| 2-1-2 2-1-5 | 意味から覚える漢字イラストカード | | かもがわ出版 |
| 2-1-2 | 常用漢字筆順辞典 新・筆順辞典（タブレット用アプリ） | | NOWPRO |
| 2-1-4 | ○×数字レース(knock knock) | | スプリングス |
| 2-1-4 | 移動英文字の箱 | | Montehippo |
| 2-1-4 | PLEXTALK Producer（DAISY作成ソフト） | | シナノケンシ |
| 2-1-4 | いーリーダー（DAISY再生用アプリ） | | シナノケンシ |
| 2-1-4 | 早打ち英文法（タブレット用アプリ） ※12歳未満の方がご利用の場合、および、学校、学童、塾など団体が所有する端末でご利用の場合は、iPhone/iPad向けの有料アプリ「早打ち英文法（広告非表示版）」をご利用ください。 | | 学校ネット株式会社 |
| 2-1-5 2-4-2 | コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング | | 三輪書店 |
| 2-1-5 | 読み書きが苦手な子どもへの〈漢字〉支援ワーク 1～3年編 4～6年編 | | 明治図書 |
| 2-1-5 | ミチムラ式漢字カード | | かんじクラウド |
| 2-1-5 | はじめてのジョリーフォニックス ーティーチャーズブックス 山下桂世子著 | | 東京書籍 |
| 2-2-1 | シリーズきこえとことばの発達と支援 特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援 | | 学苑社 |
| 2-2-1 | 言語聴覚療法シリーズ7 改訂 機能性構音障害 | | 建帛社 |
| 2-3-2 | スティッキー | | ブラザー・ジルドダン社 |
| 2-3-2 | Pallina パリナ | | Hape |
| 2-3-2 | クラッシュアイスゲーム | | 友愛玩具 |
| 2-3-2 | アイスクリームタワープラス | | エポック社 |
| 2-3-2 | 漢字の基礎を育てるワークシート | | かもがわ出版 |
| 2-3-2 | ひとりでとっくん67 けっしよほかん | | こぐま会 |
| 2-3-3 | みんなのPA系ゲーム243 | | 杏林書院 |
| 2-3-3 | 発達障がい児の脳と感覚を育てる かんたん運動 | | 合同出版 |
| 2-3-3 | 気になる子どものできた！が増える 体の動き指導アラカルト | | 中央法規 |
| 2-3-4 | はだしバランスボード | | 内田洋行 |
| 2-3-4 | いっしょに玉はこび | | 株式会社 一歩(はじめ) |
| 2-3-4 | ウェイブバランス平均台 | | 内田洋行 |
| 2-3-4 | キャット&チョコレート(日常編) | | 幻冬舎エデュケーション |
| 2-3-4 | 私の世界の見方 | | テンデイズゲームズ |
| 2-4-1 | あたし研究 | | かもがわ出版 |
| 2-4-1 | 実行機能力 ステップアップワークシート | | かもがわ出版 |
| 2-4-2 | 友だちと仲よくすごすためのスキルアップワーク | | 明治図書 |
| 2-4-2 | がくしゅうすごろくゲーム | | 学研プラス |
| 2-4-3 | ゴキブリポーカー | | メビウスゲームズ |
| 2-4-3 | DiXit ディクシット | | ホビージャパン |
| 2-4-3 | SSTワークシート 思春期編 社会的行動編 | | かもがわ出版 |
| 2-4-4 | 難聴理解かるた | | 難聴児支援教材研究会 |
| その他 | http://www1.kcn.ne.jp/~nakao/menu.html | | 通級指導教室教材倉庫 |

※本やプリント… ゲームや玩具… ソフトやアプリ… のマークが付いています

※自作教材には 《おたまのじさく》のマークが付いています

3-2 シートの具体例

○○○学校 相談シート

☆ 申し込まれる先生は、太線内を記入し、特別支援教育Coまで提出ください。

| | | | |
|-------|--|--|--------------------------------------|
| 相談内容 | <input type="checkbox"/> 児童生徒の見立てについて | <input type="checkbox"/> 指導方法について | <input type="checkbox"/> 保護者との連携について |
| | <input type="checkbox"/> その他 ※簡単な記述をお願いします。 | | |
| 相談方法 | <input type="checkbox"/> 学習場面観察 | <input type="checkbox"/> 学校生活場面観察 | <input type="checkbox"/> ()会議への参加 |
| | <input type="checkbox"/> 相談 | <input type="checkbox"/> その他 ※簡単な記述をお願いします。 | |
| 申込者氏名 | | 相談希望日時・教科名等 | |
| | | | |

各校の特別支援教育コーディネーターが通級担当教員へ相談を行うときに使用するシートの例です。各校の先生方から通級担当教員への申込、教育相談の実施がスムーズに行われるように、記入する内容は各校で工夫をしてください。



通級指導教室で行う指導について、記録を付け、評価を行います。各教室の指導実態に合わせて記録シートを工夫してください。

| 通級指導教室 指導記録 | | | |
|-------------|------|--------|-------|
| 児童生徒名 | 年 | 組 | |
| 在籍学級担任 | 学校名 | | |
| 長期目標 | | | |
| 短期目標 | | | |
| 月日 | 指導内容 | 支援・手立て | 様子・評価 |
| / | | | |
| / | | | |

【引用・参考】

- 特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領
文部科学省 平成29年4月
- 小学校学習指導要領解説 総則編
文部科学省 平成29年7月
- 障害に応じた通級による指導の手引 改訂第3版
文部科学省 平成30年8月
- 小学校・中学校通常の学級の先生のための手引き書
一通級による指導を通常の学級の指導に生かすー
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 平成30年8月
- 特別支援学級及び通級指導教室教育課程ハンドブック
奈良県立教育研究所 平成27年3月改訂
- 特別支援学級・通級による指導に関する手引き
～一人ひとりの教育的ニーズに応え、将来を見すえた指導・支援を行うために～
福井県教育庁高校教育課
特別支援・発達障害児教育グループ 平成25年度
- 初めて通級担当をする先生のためのハンドブック
栃木県総合教育センター 平成27年3月

ハンドブック作成委員会

岩井 陽子 (奈良市立あやめ池小学校)
島 邦男 (香芝市立香芝中学校)
高木 範子 (宇陀市立榛原小学校)
高橋 順治 (生駒市立生駒小学校)
田中 音栄 (奈良市立椿井小学校)
梅村 健吾 (奈良市立椿井小学校)
中尾 和人 (大和郡山市立郡山北小学校)
中尾 亘 (五條市立牧野小学校)
中山 めぐみ (平群町立平群中学校)
村上 律子 (上牧町立上牧第二小学校)
柳生 寛 (奈良市立鳥見小学校)
表紙:伊藤 麗(天理市立前栽小学校) (五十音順)
協力:奈良県難聴・言語・発達障害教育研究会
川西 光栄子 脇本 卓美(特別支援教育巡回アドバイザー)
(所属は原稿執筆時、敬称略)



子どもの学びに活かすハンドブック ～奈良県の通級の先生と共に～

平成31年3月発行
編集・発行 奈良県立教育研究所
特別支援教育部
〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町多722
奈良県総合リハビリテーションセンター2階
TEL：0744-32-8201



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
奈良県立教育研究所 特別支援教育部のホームページにも掲載しています。